

港区立南山小学校
平成30年度 授業改善推進プラン

教育目標

- ・じょうぶで明るい子
- ・よく考え最後までやりぬく子
- ・友だちとなかよく協力する子

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- ・児童主体の問題解決的な学習中心の授業に改善する。
- ・言語活動を充実させ、児童の思考力・判断力・表現力等を育成する。
- ・児童の学習状況を的確に把握し創意工夫のある少人数学習集団による指導、並びにTTによる指導を実施する。
- ・個に応じた指導を充実させ、基礎的・基本的な内容の定着を図る。
- ・幼稚園、小中学校の教育課程の連続性を考慮し、指導の一貫性を図る。

昨年度の成果と課題

- ・校内研究を生かし、スタートカリキュラムを作成、実施することにより、円滑な接続を果たすことができた。
- ・児童の学習状況や教科の特性を踏まえた問題解決的な学習を行い、児童は意欲的に学習に取り組んでいるが、学力の定着には課題がある。
- ・主幹・主任教諭による模範授業を行い、学習の組み立て方や児童の活動、試行ツールの活用についてそれぞれの指導に生かすことができた。
- ・効果的な少人数指導、TT指導の取り組み方については、課題がある。

本校の授業改善に向けた視点

| 教育課程編成上の工夫 | 指導方法・指導体制の工夫 | 評価活動の工夫 | 校内における研究や研修の工夫 | 家庭や地域社会との連携の工夫 |
|--|---|---|--|---|
| ○日本漢字能力検定の全員受検 ○体力向上の取り組み ○スタートカリキュラムの実施 ▲補充学習の取り組み | ○問題解決的な学習の取り組み ○外部講師の活用 ○ICT機器の活用 ▲効果的な学習形態の工夫（個別指導） | ○学力テストの活用 ○評価規準の活用 ○週案の活用 ▲漢字・計算パーフェクトテストの活用 | ○校内研究の推進 ○校内OJT研修の推進 ○学級経営研修の実施 | ○地域施設の活用 ○地域人材等との交流・連携 |
| 具体的な取組 | | | | |
| ○漢字検定において、推奨級を受検できるように新出漢字を2学期末までに実施する。 ○体力アップタイム（木曜中休み）を実施する。 ○校内研究を生かし、スタートカリキュラムを実施する。 ▲漢字タイム、計算タイムの充実を図る。 ▲チャレンジタイム（放課後補充学習）を実施する。 | ○SA（理科）、RAS（図書）との連携における授業を実施する。 ○タブレットやデジタル教科書を効果的に活用する。 ▲算数で、少人数指導、TT指導の充実を図る。 | ○学力テストの分析結果を日々の授業に生かす。 ○各教科の評価規準を活用する。 ○意図的で計画的な週案をもとに、指導と評価の一体化を図る。 ▲漢字・計算パーフェクトテストを実施し、学力の定着を確認しながら指導を進める。 | ○☆理科、生活科を通して指導力の向上を目指す。 ○主幹・主任教諭が主体となり、ミニ研修会を行う。 ○ハイパーQU検討会を通して学級経営力の向上を目指す。 | ○生活科・総合的な学習の時間において、麻布十番商店街や、六本木ヒルズなどの地域を活動場所にしたり、地域人材を生かしたりした学習に取り組む。六本木高校のプラネタリウムの活用や、二次避難場所としての連携を強化していく。 |

☆→今年度からの取組 ○→定着・継続している取組 ▲→活性化が必要な取組